

日本大使館は、2月17日から20日まで首都ディリ、地方都市アイレウ及びアイナロで、外交関係樹立10周年記念文化事業を実施しました。今回の文化事業は、2002年5月20日に外交関係を樹立した日本・東ティモール友好関係を祝う最後の事業となりました。



今回の文化事業は、東ティモールの著名な音楽家であり環境学者、東ティモールUNESCO委員会のメンバーでもあるエゴ・レモス氏の協力の下、実施され、レモス氏は、今回の文化事業を「*Care for the Environment and Create Cultural Relations*」と名付け、日本人音楽家8名と現地人音楽家6名とともに、両国の文化を通じた両国の友情と絆を促進するための音楽公演を開催しました。



メイン・コンサートは、17日夕刻にディリ・コンベンション・センターで行われ、グテレス外務協力大臣、ライ観光大臣の来賓、一般観客を迎え、大規模コンサートを楽しみました。会場には、Pixelasia Productions Diliの映画監督レナ・レンゼン氏を中心とした映像撮影クルーが今回の日本人音楽家の体験に基づいたドキュメンタリーを制作の上、当国国営テレビ局で放送するため、公演する音楽家達とコンサートを楽しむ観客の様子を撮影しました。

音楽家達は、公演に加えアイレウ科学技術学院（ASTI）と、邦人NGOパルシックの協力の下、マウビシ地域センターで環境保護やアイヌ文化に関するワークショップを行いました。



ASTIでは沢山の学生や教員に加え、アイレウ県の住民もコンサートとワークショップに参加し、日本人と東ティモール人との間の絆を育みました。マウビシ地域センターでは、パルシックと共にコーヒー農園を営む農民を含む地域の住民がコンサートとワークショップに参加しました。

